

令和3年度 みやき町立中原中学校 学校経営案

◎本校の教育課題

- さらなる学力向上 家庭学習充実、小中連携した指導法の工夫改善、進路学習の充実
- 豊かな心の育成 道徳授業の充実とともに全教育活動で心の教育を推進していく
- 生徒指導の充実 小中連携した基本的な生活習慣・規律の指導
- 特別支援教育 情緒学級9名、知的学級2名、病弱1名
- 不登校対策 不登校傾向5名（内 2年生4名、3年生1名）

※本校の教育目標

『ふるさと中原を担う生徒の育成』 ～自律と共同の学校づくりを通して

目標達成のキーポイント：自律と共同の場面づくり

〈目指す学校像〉 <ul style="list-style-type: none">・学ぶ意欲を育てる学校・豊かな心と体を鍛える学校・落ち着きのある学校・地域に親しまれ、信頼される学校	
〈目指す生徒像〉 <ul style="list-style-type: none">・場を整える生徒・言葉を整える生徒・服装を整える生徒・思いやりや感謝の心を持った生徒・将来の目標を持った生徒	〈目指す教師像〉 <ul style="list-style-type: none">・研修に励み、向上心あふれる教師・信頼される教師・生徒を理解し、支援に努める教師・生徒と共に活動できる教師・家庭・地域との連携に努める教師

《中原中学校》

生徒が・・・充実感を持ち行きたいと思う学校

保護者が・・・通わせたい学校

地域が・・・誇りとする学校

教職員が・・・勤めたいと思う学校

生徒が目輝かせながら、学校が楽しい、明日も学校に行きたい、そう思えるような学校づくりをしたい。

そのために、

1 安全・安心な学校づくり

全職員で**危機管理の徹底**といじめのない学校づくりに力を入れる。

生徒の命を最優先

2 生徒が輝く、明るい学校づくり

生徒が輝くためには、やはり勉強が分かるとともに、将来の目標を持たせる必要がある。そこで、全職員をあげて**学力向上**に努めるとともに、**キャリア教育**に取り組む。

また、生徒がより一層輝くために、**生徒の出番と承認の場**を数多く作り、生徒のやる気を導き出すような生徒会活動のさらなる活性化に取り組む。

3 道徳教育や心の教育といった、教育における不易の部分大切にするとともに、ICT 利活用教育やグローバル化に対応した教育など、時代の要請に応える教育にも積極的に取り組む。

4 保護者の願いを知り、地域と共に地域に根ざした教育を進める。これからますますグローバル化が進む時代に、ふるさと佐賀を愛し、また自分の母校を誇りに思うような生徒を数多く育てるため、地域連携教育に積極的に取り組み、地域と共に学校づくりに取り組んでいく。

1. 中原中学校 学校経営具体的方針

◎ 教育指導の構想

本校は、次世代の「社会の形成者」(教基本1条)の育成のため、ふるさと中原を担う人材の育成をめざして教育活動を行う。その際、①教師の成長、②生徒の活躍、③小学校・保護者・地域との連携、この3つを基本的な教育理念とする。

また、生徒の健全な育成のために、開発的生徒指導に心がける。**(出番・役割・承認)**

① 学校教育目標とその意味

ふるさと中原を担う生徒の育成 ～自律と共同の学校づくりを通して～

「担う」とは、古くからの地域の伝統を守り、未来を開くこと。それができるのは「自律と共同」を兼ね備えた人物である。

「自律」とは、誠実な心の声に従って行動しようとする心。個人の力。

「共同」とは、社会の一員として他と協力して目的を達成しようとする心。チームプレー。

② 教育目標と教育活動(各領域)との関係

領域	意図すること	★
特別の教科道徳	自律と共同の基礎としての道徳性を育成する。 生徒に意見を出し合わせる指導の工夫をする。	自律 共同
教科	生涯学び続ける基礎を身につけさせる。 知識に止まらず、思考・判断・表現力を育てる。	自律 共同
特別活動	学級活動	共同
	生徒会活動	
	学校行事	

総合的な学習の時間	主に個人での課題解決を通して生き方を考えさせる。 教科で学んだ力を発揮させる。	自律
部活動	体力向上や技術習得を図り、自律と共同を発揮させる。 学校と社会をつなぐ。	自律 共同

各領域で意図することと自律と共同との関係(★)

2. 教育目標実現のための重点項目

(1) 開発的生徒指導の推進

- ・ 出番・役割・承認を常に意識する。褒める場面を作り、褒めることのできるようにする。(自律と共同を意識した教育活動の設定と実践)
- ・ 生徒指導委員会を定例化し、情報交換を密に行う。また、関係機関とも連携を図る。

(2) 夢(志)、目標をもたせる

- ・ キャリア教育の充実
- ・ 部活動

(3) 道徳教育の充実

- ・ 道徳の時間の確実な実施と指導方法を工夫する。
- ・ 学校行事等の体験と道徳の時間と関連させる。

(4) 学力向上のための取組継続

- ・ 落ち着いた学校づくりを継続実践し、「基本的な生活習慣の確立」に努める。
- ・ 学習意欲を高める指導方法や小中連携した活用力向上について研究する。
- ・ 思考・判断・表現の場を設定して、確かな学力を育てる。

(5) ふるさと中原に対し愛着をもたせる

- ・ 地域の方々とのふれあい(地域人材の有効活用)
- ・ 地域の歴史や人材の紹介(全校集会や学校だより他)

(6) 保護者との連携

- ・ 問題が起きてからではなく、日ごろから生徒の学校での様子(特に良い面)を提供し、良好な関係を築いておく。
- ・ 保護者の思いを受け取り、親身になって対応する。